

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学実験 1	HSP12-002	選択	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	木曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>心理学は実証科学である。どのようにすれば目に見えない「こころ」を研究対象として扱えるのか。本講義では、心理学研究における実験の重要性を理解し、目的や仮説に沿って適切に実験を立案・実施・報告するために必要となる基本的知識と技術を習得することを目的とする。</p> <p><概要>受講生自身に実験者および実験参加者となってもらい、心理学における基本的な実験を3つ実施する。ExcelやWordを用いて適切なレポートを作成できるよう、実践的な技術についても解説する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 (実験)				
学習上の助言	講義中やオフィスアワーを活用し、積極的に質問して理解を深めてほしい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	なるほど!心理学実験法(心理学ベーシック第2巻)/監:三浦麻子/著:佐藤暢哉、小川洋和/北大路書房/2017年				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学研究における実験の重要性を理解し、具体的に説明できる。			HC (5)	
②	心理学研究における基本的な実験手法を理解し、適切に実施できる。			HC (5)	
③	収集したデータについて基本的な統計解析を行うことができる。			HC (5)	
④	研究レポートを執筆規定に従って作成できる。			HC (5) (6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 心理学研究(特に実験)の一般的な流れについて学ぶ。	講義	配付資料を熟読し、本講義の概要を整理する。	0.5	
2	実験の練習1(触2点閾):実験の仮説、手続きについて学ぶ。精神物理学的測定法について学ぶ。	講義・実験	配付資料を熟読し、精神物理学的測定法や触2点閾の実験について整理する。 レポート作成に必要な情報やポイントを整理する。	1	
3	実験の練習2(触2点閾):実験を実施し、データを収集する。	講義・実験		0.5	
4	実験の練習3(触2点閾):データの整理、図表の作成方法について学ぶ。	講義・演習		1	
5	実験の練習4(触2点閾):実際のレポートを読み、レポートの構成や書き方について学ぶ。	講義・演習		1	
6	系列位置効果1:実験の仮説、手続きについて学ぶ。実験を実施し、データを収集する。	講義・実験		1	
7	系列位置効果2:データの整理、図表の作成方法について学ぶ。	講義・演習	レポート作成に必要な情報を集める。 レポートを作成し、期限内に提出する。	0.5	
8	系列位置効果3:結果の解釈を行う。実験の問題点とその改善策を検討する。	講義・GW		1	
9	系列位置効果4:レポートの書き方について学ぶ。	講義・演習		1.5	
10	系列位置効果5:レポートの総評ならびにピアレビューを通して、自分のレポートの不足部分や改善点を考察する。	講義・GW	レポートを修正する。	1.5	
11	鏡映描写1:実験の仮説、手続きについて学ぶ。実験を実施し、データを収集する。	講義・実験	配付資料を熟読し、知覚運動学習の概念や鏡映描写の実験について整理する。 レポート作成に必要な情報を集める。 レポートを作成し、期限内に提出する。	1	
12	鏡映描写2:データの整理、図表の作成方法について学ぶ。	講義・演習		0.5	
13	鏡映描写3:結果の解釈を行う。実験の問題点とその改善策を検討する。	講義・GW		1	
14	鏡映描写4:レポートの書き方について学ぶ。	講義・演習		1.5	
15	鏡映描写5:レポートの総評ならびにピアレビューを通して、自分のレポートの不足部分や改善点を考察する。	講義・GW		レポートを修正する。	1.5
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	0	0	20	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	25	0	0	5	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	25	0	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	「系列位置効果」と「鏡映描写」で各2つ（初稿、修正後の最終稿）、計4つのレポートの提出を求める。体裁、内容、表現力等により評価する。第5回に、評価基準を明記したルブリックを配布する。（各20点満点で計80点満点）				提出されたレポートを添削し、コメントと評価点を付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業への取組み（実験者および実験参加者としてふさわしい態度、グループワークでの積極的な意見交換など）を総合的に評価する。（20点満点）				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。						
実践的授業の内容	専門性とこれまでの研究活動をもとに、受講生がイメージしやすい心理学研究の具体例や実践例を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 公認心理師の国家資格取得希望者は必ず履修すること。 ◇ データを適切に分析し解釈するためには統計学の知識が肝要である。総合基礎科目領域の「統計学」を同時に履修することを推奨する。 ◇ 第1回のオリエンテーションにて講義の進め方に関する重要なアナウンスを行う。履修予定者は必ず出席すること。公欠等やむを得ない理由で出席できない場合は必ず事前に担当教員に連絡すること。 ◇ 「3つの実験を全て経験すること（無断欠席・遅刻は厳禁）」と「課されたレポートを全て期限内に提出すること」が単位取得の前提条件である。また、レポート作成にあたり生成AIの出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は未提出と同等の扱いとする。 ◇ 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 ◇ 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることもあり得る。 						